

## 第2節 世界都市を目指した名古屋と各拠点都市の魅力向上

### 1. 目指すべき方向の視点

#### (1) 世界都市名古屋を目指した名古屋の魅力向上の必要性

国土のまんなか位置する中部地方は、関東地方と近畿地方に挟まれた立地優位性を活かし、高度経済成長以降、国際的に競争力のあるモノづくり産業の集積地として成長を遂げてきました。その一方で、社会経済活動の円滑化を最優先とした社会資本整備が進められたことにより、単調な都市を形成してきたといえます。とりわけ名古屋市は、整然とした道路網整備に象徴される計画的な基盤整備が進められてきた反面、文化・交流機能などの魅力に乏しく、中部の顔としての求心力は十分ではなかったといえます。

また、金融などの中枢管理機能、情報発信機能、外国人旅行者数、国際コンベンション<sup>1</sup>の開催件数及び外資系企業の立地数などの国際性が名古屋の弱みであると指摘されています。都市の国際間競争が激化し、ともすれば東京や大阪の間で埋没しかねない中で、訪れたいくなるあるいは生活したくなる都市として魅力向上を図り、知名度を高めていくことが中部地方の中心都市としての責務といえます。

#### (2) 各拠点都市の魅力向上の必要性

県庁所在地などの各拠点都市では、中心市街地の衰退と空洞化により、拠点性が低下しています。中心市街地はその都市の文化や歴史を育み、今後もまちの個性を形成する場であり、賑わいの創出や求心力を高める取り組みが望まれます。

また、平地に発展した過密都市における大規模地震や水害などの災害に対する危険性の増大、中心部への自動車の集中、大規模店舗の閉店や工場等の移転により生じた跡地活用など低未利用地の問題も顕著になっています。しかし、中部地方は関東地方や近畿地方に比べ、緑豊かで居住環境も比較的恵まれており、こうした課題の改善により、快適で暮らしやすく魅力ある地域形成が可能であると考えられます。

### 2. わたしたちの目指す地域像

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 世界の人々が期待に胸を膨らます（心躍らせる）場面に会うまち</li><li>・ 便利さとゆとりがベストミックスし、笑顔があふれる暮らしを実現できるまち</li></ul> |
|---|

#### 【地域の声】

- ・ 知名度がなさすぎる。情報発信、ブランドづくりが重要である。（まんなか懇談会）
- ・ 名古屋のプレゼンス<sup>2</sup>を高めるようにコアの部分重視して育成していくべき。（まんなか懇談会）
- ・ 「追いつかれないもの」、「名古屋ブランド」をつくるべき。名古屋には世界から人を呼び寄せる魅力が必要である。（まんなか懇談会）
- ・ 名古屋を補完する50万人～70万人都市があって然るべきではないか。（ビジョン討論会四日市会場）
- ・ 我が国の人口や経済が減少基調になっていることを念頭に置けば、これからは市街

<sup>1</sup> コンベンション：[convention] 大規模な会議や見本市などを指す。地域の活性化や観光の振興に向けて、特に国際会議等の誘致が各地で活発になっている。

<sup>2</sup> プレゼンス：[presence] 存在感、存在価値。

地を重点的に整備することが重要である。(まんなか懇談会)

### 3. 地域像を実現するための具体的な目標

#### 目標1 名古屋の賑わいを創出し、都市再生を推進します

##### (目標)

名古屋が中部地方のコアとしての中枢性を強化し、21世紀の都市活動、都市生活にふさわしい空間とするために、名古屋駅地区や栄地区をはじめとする都心部において、業務・商業・文化・交流などの複合的な機能を誘導し、多くの人が集い賑わう魅力ある名古屋を目指して都市再生を推進します。

##### [地域の声]

- ・ 名古屋圏の魅力向上には、名古屋駅から栄にかけての都心部の整備が重要。奥行きと味わいと歴史が名古屋ブランドのエッセンス。(まんなか懇談会)
- ・ 名古屋市駅前地区の緊急整備地域指定のような選択的整備は非常に重要な政策転換。(まんなか懇談会)
- ・ 誇りと愛着の持てる名古屋を目指して欲しい。(ビジョン討論会名古屋会場)
- ・ 名古屋は中部を代表する都市であることを明確にする必要があり、これからはまちの風格が求められる。(ビジョン討論会名古屋会場)

##### [具体的な施策および主要事業例]

- ・ 名古屋市における国際交流拠点へのアクセス性を向上するため、鉄道アクセスを整備します。(西名古屋港線 等)
- ・ 都市再生を推進し、世界都市にふさわしい業務、商業、文化、アミューズメント等の高次な都市機能を備え、高齢者・環境に配慮した都市基盤を整備します。(名古屋駅前 等)
- ・ 世界都市にふさわしい名古屋市内における公共交通機関のネットワークを整備するとともに、駅部のバリアフリー化や乗り継ぎ利便向上など交通機関の利便性の向上を図ります。(地下鉄4・6号線 等)
- ・ 既存の社会資本を活用した魅力ある再生を図るために、市街地整備と連携を図る事業を促進します。(堀川マイタウンマイリバー事業 等)

#### 目標2 名古屋の国際性を高めます

##### (目標)

名古屋での各種の会議、アフターコンベンション<sup>1</sup>の機会を増やします。産業観光の拠点、歴史文化の遺産を活かした拠点整備やその案内を充実するとともに、「愛・地球博」の開催や中部国際空港の開港を契機に、海外でのPRを強化し、名古屋の国際的知名度を向上します。

##### [地域の声]

- ・ この地域は全総で「国際交流の中枢」と謳っているが、国際交流については遅れている。(まんなか懇談会)
- ・ まちの中の表示板を日本語だけでなく、英語、ハングルなどを入れる。(ビジョン討論

<sup>1</sup> アフターコンベンション：[after convention]観光や宿泊等、イベントやコンベンションで訪れた人のアフタータイムやリラクゼーション。

会)

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ 展示・コンベンション等の情報発信やマーケット機能などの国際交流機能及び施設の強化を図ります。
- ・ 産業観光の拠点整備や歴史施設の復元や文化施設の整備をとおした魅力拠点の形成を推進します。(名古屋城本丸御殿復元 等)
- ・ 国際社会に対応した標識・サインの充実を図ります。(外国語標記 等)
- ・ 外国人旅行客の増加に向け、名古屋の魅力を伝えるため官民一体となったキャンペーンの強化や、施設入場料割引など外国人旅行客受け入れの促進策を推進します。

目標3 都市の中にオープンスペースや緑を確保し、やすらぎと風格を与えます

(目標)

公共空間や公共施設などの既存ストックの有効活用を図りながら、美しく訪れやすい水辺環境の創出や公園の整備、憩いの空間の形成を行います。

【地域の声】

- ・ 市民がもっと利用しやすい人間優先の空間や、自然が多く、水辺にふれあえる環境が必要。(ビジョン討論会)
- ・ スローライフ的なまちというか、ゆっくり行きましょう、みたいなまちになればいい。(ビジョン討論会名古屋会場)
- ・ オープンカフェや市民ギャラリーなど、市民がもっと利用しやすい空間が必要。(ビジョン討論会名古屋会場)

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ 都市に風格をもたらし、都市住民にうるおいを提供する親水空間、緑空間を整備します。(都市公園整備 等)
- ・ 民間施設の緑化の推進、公共施設の緑化等によって都市のやすらぎを与えるとともに、ヒートアイランド現象についても緩和します。(屋上緑化の推進 等)

目標4 大気汚染や騒音等による生活環境への影響の改善を図ります

(目標)

環状道路の整備、ITSの活用及び連続立体交差の推進などにより交通の流れを円滑にすることで、大気汚染や騒音等を減らし、生活環境の改善を図ります。遮音壁や低騒音舗装などにより、静かな生活を回復します。

【地域の声】

- ・ 中部は自動車売ることによってCO<sub>2</sub>を排出しているので、環境をしっかりと考えたまちづくりをする必要がある。(ビジョン討論会豊橋会場)
- ・ 幹線道路沿線の騒音・振動対策を。(市町村長ヒアリング)

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ 環境負荷の少ない道路利用への取り組みとしてTDM<sup>1</sup>、自転車利用の促進に取り組む

<sup>1</sup> TDM：[Transportation Demand Management]交通需要マネジメント。車の利用の仕方や生活の工夫によって交通需要を調整し、交通混雑を緩和させる。

とともに道路構造対策による沿道環境の改善を図るために、遮音壁、低騒音舗装、環境施設帯などの沿道環境改善事業を推進します。

- ・ 鉄道高架事業、バイパス・環状道路の整備等により抜本的な渋滞対策を推進し、生活環境への影響を改善します。
- ・ 公共交通機関などの利用促進のために、公共交通の活性化などの事業を推進します。

#### 目標5 安全で快適な質の高い都市生活を実現します

##### (目標)

都心部の駐車場の整備による路上駐車を減らし、渋滞解消を図るとともに、市街地の再整備、安全で快適な歩行空間の形成など、日常で豊かさを実感できる都市生活を実現します。

雨水対策への河川と下水道の連携など総合的な取り組みやハザードマップ<sup>2</sup>による情報提供、防災上危険な密集市街地の解消などを推進します。

##### [地域の声]

- ・ 質や空間整備を重視したインフラ整備が人々の生活のあり方を変え、ゆとりと豊かさを育む。(まんなか懇談会)
- ・ 老後を健やかに暮らせるまち、そこに生き残る、住みやすい、住みたくなるまちづくり。(ビジョン討論会四日市会場)
- ・ 木造密集市街地の防災対策を。(市町村長ヒアリング)

##### [具体的な施策および主要事業例]

- ・ 鉄道の駅前広場などの交通拠点の利便性を向上します。(静岡駅前地下駐車場 等)
- ・ 防災上危険な密集市街地の解消や災害に強い都市空間を形成するために、土地区画整理、避難路(街路)、避難地、広域防災拠点(都市公園)の整備や密集住宅市街地整備、市街地再開発の各事業を推進します。
- ・ 東海豪雨水害などの都市型水害被害を低減するために、下水道と河川の連携など総合的な都市型水害対策を推進します。(庄内川・新川「激特」事業 等)
- ・ 事故発生割合の高い地区において、公安委員会の速度規制などとあわせて、歩道の設置や歩行者優先道路の整備などを面的総合的に進める「あんしん歩行エリア」を形成します。

#### 目標6 各拠点都市の賑わいを創出します

##### (目標)

駅前や中心市街地の人通りを増やし、都市に賑わいを創出します。

潤いや賑わいのあるまちなか居住を推進し、まちなかの定住人口を増やします。

##### [地域の声]

- ・ 地域をブロック化し、そのブロックの中でもコンパクトな拠点づくりをしないとけない。(まんなか懇談会)
- ・ 中心市街地を大切にし、みんながまちに来ることが必要。(ビジョン討論会豊橋会場)
- ・ 人が住めばそこに商店もいるし、マーケットもできる。都心居住は民間も含めてやってほしい。(ビジョン討論会豊橋会場)

<sup>2</sup> ハザードマップ：[hazard map]災害を予測するための地図。実際には火山爆発や洪水の予測についてつくられることが多い。

- ・ 何かざわざわしているなという感じの街が良い。(ビジョン討論会伊勢会場)
- ・ 駅周辺での総合的な市街地整備事業の推進を。(市町村長ヒアリング)

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ 中心市街地の中心となる通りの美化を推進します。
- ・ 中心市街地における職住近接の良質な住宅供給を推進します。(住宅市街地整備総合支援事業 等)
- ・ 駅前広場の整備や公共交通機関のバリアフリー化など、人々の交流の拠点となる地区における拠点機能の整備を推進します。

目標7 日常活動圏の中心都市まで快適に行けるようにします

(目標)

鉄道やバスなどの公共交通機関を充実するとともに、パークアンドライドなどの導入により公共交通との交通結節性を向上します。  
日常活動圏の中心都市までの渋滞を解消します。

【地域の声】

- ・ 点在する拠点をつくって、その間を重要なインフラで結ぶことが重要。(まんなか懇談会)
- ・ 国道1号は渋滞がひどいため、もう1本道路を整備して欲しい。(ビジョン討論会豊橋会場)
- ・ 鈴鹿から四日市方面への道路渋滞がひどい。(ビジョン討論会四日市会場)
- ・ バスなどの公共交通の支援・パークアンドライドの推進を。(市町村長ヒアリング)

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ 鉄道駅等へアクセスする幹線道路のボトルネック対策を推進します。
- ・ 「ひと・まち・環境」にやさしいバスを中心とするまちづくりのために、オムニバスタウン事業を推進します。
- ・ パークアンドライドなどの導入により公共交通との交通結節性を向上します。

目標8 自家用車に過度に依存しない、歩いて暮らせる、自転車も走りやすいまちを形成します

(目標)

歩道のバリアフリー化を推進し、高齢世代や子育て世代が安心して快適に移動できるようにします。  
自転車道や自転車駐車場の整備を進め、自転車で移動しやすい環境および歩行者の交通安全を確保します。  
コミュニティバスなど地域に密着した公共交通機関の導入やトランジットモール<sup>2</sup>の整備などのTDMの推進による自動車交通量の低減を図ります。

【地域の声】

- ・ 物流をすごく見てきたけれど、人の交流は見てきていない。人の視点から見た政策の見直しを。(まんなか懇談会)

<sup>1</sup> コミュニティバス：[community bus]地域の住民の利便向上等のため一定地域内を運行するバスで、車両仕様、運賃、ダイヤ、バス停位置等を工夫したバスサービス。

<sup>2</sup> トランジットモール：[transit mall]バスや路面電車などの公共交通機関と歩行者の通行だけを許す市街地地域。

- ・ 歩いて暮らせるまち、歩車道分離や自転車レーン等も含め、人が優先できるまちにして欲しい。(ビジョン討論会名古屋会場)
- ・ 高齢者が車に乗れなくなったときに歩いて買物したり暮らしたりというまちを目指したい。(ビジョン討論会豊橋会場)

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ 自転車、歩行者空間の整備とバリアフリーの推進を図るために、安全で快適な自転車や歩行者の利用環境の整備やバリアフリー歩道を整備します。
- ・ 適切な土地利用誘導、中心市街地の再整備と都市型居住の推進などによるコンパクトな都市づくりによって、車に依存しない都市構造を形成します。
- ・ 交通結節点でのiモビリティセンター等において移動に関する情報提供を行います。
- ・ 歩いて楽しめる空間づくりを推進します。(トランジットモールの整備 等)

【当面取り組む主要なプロジェクト】

名古屋にぎわい創出プロジェクト

(目標 1、2、3 の達成を目指して)

名古屋の都心部における活力を向上するため、名古屋駅や栄などの都市再生緊急整備地域における市街地の再開発を推進するとともに、堀川の水環境の改善による良好な都市の水辺空間の再生や久屋大通・広小路通・若宮大通など名古屋を代表する景観の整備によって、住む人々にゆとりと豊かさを与える、歩いて楽しい魅力ある都市を築き、名古屋に「にぎわい」を創出します。

<アウトカム指標(参考例)>

- ・ 名古屋の賑わいの倍増
- ・ 名古屋で開催する国際コンベンション件数の増加
- ・ 水辺の好感度の向上 等

名古屋都市圏交通リーディングプロジェクト

(目標 2、4、5、7 の達成を目指して)

ITS 世界会議を契機とした ITS (ETC<sup>1</sup>、VICS<sup>2</sup> 等) の普及や、東部丘陵線(リニモ)・ガイドウェイバス(ゆとりーとライン)・基幹バスなどの先進的な交通システムの導入・活用などによる公共交通網の整備やバリアフリー化による交通利便性の向上を図ると共に、JR、名鉄、近鉄といった鉄道の高架事業や名古屋環状 2 号線等の環状道路の整備等による抜本的な交通渋滞対策の推進などによって、全国のモデルとなる都市交通の先進的な圏域形成を目指します。

<アウトカム指標(参考例)>

- ・ 公共交通機関の利用率の向上
- ・ NO<sub>2</sub>、SPM 環境目標達成箇所数の向上
- ・ ETC 利用率の向上 等

岐阜等拠点市街地再生プロジェクト

(目標 5、6、7、8 の達成を目指して)

岐阜・静岡・四日市・浜松・豊橋など、各拠点都市の駅前に代表される中心市街地を整備するとともに、街なか居住を推進することによって、賑わいを創出し拠点機能の再生を図ります。

また、潤いと賑わいのある街なか居住を実現するために、都市の中でも水や緑といった自然とふれあうことのできる場を形成するとともに、公共交通の利用促進も図ることで過度に自動車に依存しない街なかを創造します。

<アウトカム指標(参考例)>

- ・ 駅前の賑わいの倍増
- ・ 街なか居住人口の増加
- ・ 職住近接の実現(通勤時間を短縮) 等

<sup>1</sup> ETC : [electronic toll collection system] 高速道路等の料金所や検札所の通過をスムーズにするため、道路に設置されたアンテナと車載機器間の無線交信を介して自動的に通行料金の精算が行われるシステム。

<sup>2</sup> VICS : [vehicle information communication system] 道路上に設置した情報通信施設と車載機器との間で通信をおこない、現在位置の案内や道路案内などの情報を提供する情報通信システム。

<sup>3</sup> SPM : [suspended particulate matter] 大気汚染物質のひとつで、直径が一〇ミクロン以下の空気中に浮かぶ浮遊粒子状物質のことで、ディーゼルエンジンの排気ガスや工場の煤煙などに含まれる。発ガン性物質を含み、ぜん息を引き起こす原因物質とされ、平成 12 年度から SPM の排出規制が強化された。